

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	3 同和対策総務費	2,333千円	2,311千円
担当課決算額				2,333千円	2,311千円

○ 同和対策総務事業 2,311千円

人権・同和行政の確立に向け、同和問題の解決及び啓発活動事業の推進を図るため各種団体等へ補助金等の交付を行った。

また、新規学校卒業者のうち就職について、特に援助を必要とする者に対し常用就職の促進及び就業の安定を図るために支給した。

負担金等	金額
東伯郡同和対策推進協議会負担金	27千円
部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金	27千円
琴浦町同和対策推進協議会補助金	300千円
部落解放同盟琴浦町協議会補助金	1,800千円

就職促進奨励金 100千円

支給人数	支給額
4人	1人あたり 25,000円

「成果」 ①琴浦町あらゆる差別をなくする実施計画に基づき、必要な人権・同和行政が積極的に実施された。

②新規学校卒業者のうち就職について、特に援助を必要とする者に対し常用就職の促進及び就業の安定を図るために4名に支給した。

「課題」 ①同和問題の正しい理解と認識を深め、同和行政を確立し、同和問題のすみやかな解決を図る必要がある。

②正社員としての就職が難しく、常用就職の促進及び就業の安定をさらに図る必要がある。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	最終予算額	決 算 額
		目	4 隣保館運営費	21,639千円	21,252千円
担当課決算額				21,639千円	21,252千円

○隣保館運営事業 13,985千円

町民を対象に、部落解放文化祭、同和問題懇談会、解放教育講座、研修会等各種啓発活動を通して、部落差別をはじめとするあらゆる差別解消に向けた取り組みを行った。

「成果」 ①講演会等のテーマを町民に関心の高いものにしたことにより多くの参加があった
②町民の主体的な文化・教養に関する学習活動の促進と充実を図った。

「課題」 年間を通して各種事業へ多くの町民の参加者を増やすことが、部落差別をはじめとするあらゆる差別解消につながるため、広報活動等の充実を図る必要がある。

・嘱託職員(3名)、臨時職員(1名)賃金 等 8,709千円

・審議会等の開催状況

事業名	回数他	参加人数・対象
運営審議会(東伯文化センター)	年2回	委員12名
運営審議会(赤碕文化センター)	年2回	委員12名

年間利用者数(東伯文化センター)	延べ	10,160人
年間利用者数(赤碕文化センター)	延べ	12,976人

赤碕文化センター下水道接続工事関	金額
合併浄化槽清掃	239,400円
下水道接続工事等	519,750円

○生活相談事業 4,740千円

生活相談員を2名配置し、町民の生活・健康・福祉・就労等の向上に取り組んだ。

生活相談件数(東伯文化センター)	延べ	175件
生活相談件数(赤碕文化センター)	延べ	297件

○学習活動事業 2,527千円

部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消に向けた各種学習活動に取り組んだ。

【東伯隣保館】

事業名	回数他	参加人数・対象
部落解放文化祭	年1回(11月)	延べ 1,184人
同和問題懇談会	年間7回	延べ 379人
小学生学習会	週1回	1~6年 30人
小学生生活体験学習	1泊2日	1~6年 30人
中学生学習会	週1回	1~3年 22人
中学生生活体験学習	1日	1~3年 22人
中学生親子県外研修	岡山県	31人
高校友の会学習会	年間2回	15人
ふれあい講座	年間6回	延べ 71人
教室活動(6教室)	年間133回	対象人数 73人

【赤碕隣保館】

事業名	回数他	参加人数・対象
部落解放文化祭	年1回(11月)	延べ 938人
解放教育講座	年間6回	延べ 385人
小学生解放「学習会」	週1回	1~6年56人
県外研修	広島県	小6年8人・中1年 10人
中学生解放「学習会」	週1回	対象人数 28人
高校友の会解放「学習会」	年間4回	対象人数 33人
高年者学級	月1回	延べ 122人
教室活動(3教室)	月2回	対象人数 26人

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	最終予算額	決 算 額
		目	3 児童館運営費	7,737千円	7,661千円
担当課決算額				7,737千円	7,661千円

○児童館運営事業 7,252千円

乳幼児期から子ども同士の仲間意識を育てるとともに、保護者のつながりを強固にし、地域が一体となって子育てに取り組む環境づくりに努めた。

また、親子のふれあい、地域に住む様々な人とのふれあいを通して、子どもたちの自尊心を高め、豊かな人間形成に努めた。

「成果」 ①各種の活動が、子どもたちの主体性の確立、仲間づくりの推進につながっている。

②保護者クラブは、主体的な取組みがなされるとともに、保護者の資質の向上や、連携強化につながっている。

「課題」 各種活動への参加者が減少傾向にあり、学校との連携や呼びかけによって積極的な参加を促す必要がある。

・臨時職員(2名)、パート職員、賃金 6,647千円

・年間利用者数等

年間利用者数	東伯 3,714人	開館日数	東伯 293日
	赤碕 6,351人		赤碕 296日

○地域交流学习事業 409千円

文化センターで子どもや保護者などが、入園前や入学前の集団づくりや、異年齢・保護者同士・地域等との交流を図り、地域に根ざした教育力、自立心を高めていくことをめざし、事業を実施した。

【東伯児童館】

事業名	回数他	参加人数・対象
幼児交流会&親子ひろば びーのびーの	年間7回	延べ 83人 (0~5才児対象)
児童館まつり	年1回(6月)	226人
まいにちじどうかん	年4回(3月)	183人
七夕まつり	年1回(7月)	114人
しもいせ保護者クラブ育成	年間14回	会員 33軒

【赤碕児童館】

事業名	回数他	参加人数・対象
乳幼児学級	年間10回	延べ83人 (未入園児対象)
児童館まつり	年1回(9月)	138人
放課後児童クラブ	開館日	延べ 1,715人
子どもまつり	年1回(11月)	142人
成美ほんぼちクラブ育成	年間6回	会員 66軒
子ども茶道教室	月1回	会員 3人
児童館活動	月1回	100人
その他(子ども手話教室)	月1回	会員 1人

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	8 人権・同和教育費	40,587千円	40,437千円
担当課決算額				40,587千円	40,437千円

○人件費 23,929千円(一般職4人)

○進学奨励金給付事業 7,202千円

平成23年度から、高等学校奨励金については、進学や就学にあたり、保護者の負担を少なくするための「子育て支援」と子どもたちの「教育を受ける権利の保障」を目的に給付対象者を全町に拡大している。ただし、大学・専修学校奨励金については従来どおり。

「成果」①高校生奨励金の対象者を全町の高校生に拡充したことによって、より多くの家庭を支援できるようになった。

②同和地区の対象者については、給付に伴い各高等学校に教師派遣を要請し、学習会を開催した。学習会とあわせ高校職員との懇談を行い、連携を深めることができた。

「課題」①奨励金を受取るだけでなく、奨励金の意義等について理解を深めてもらう必要がある。

②より多くの高校生や家庭を支援できるよう、町報・無線・ホームページ・説明会・学校への案内などいろいろな周知方法を継続し、さらに周知を図る必要がある。

(単位:円・人)

区分	単価	人数	月数	支給額
高等学校(高等専門学校含む)	4,000	107	12	5,136,000
高等学校(高等専門学校含む)	4,000	3	7	84,000
高等学校(高等専門学校含む)	4,000	1	6	24,000
高等学校(高等専門学校含む)	4,000	1	5	20,000
大学(短期大学・大学院含む)	8,500	11	12	1,122,000
専修学校(各種学校含む)	8,500	8	12	816,000
計		131		7,202,000

○人権・同和教育推進事業(事務費) 3,888千円

教員、行政職員等が、地域で推進者としての役割を担えるよう、部落差別をはじめあらゆる差別問題について正しい理解と認識を深めるため、研修や大会等への派遣を行った。

人権・同和教育部落懇談会の推進等、各部落において人権・同和教育を推進していくためには各部落の人権・同和教育推進員の資質の向上も必要であり、事前研修会等を開催した。

また、町人権・同和教育推進協議会及び各地区人権・同和教育推進研究協議会に対し、人権・同和教育の推進、研究委託を行い、町並びに各地区における人権・同和教育の推進に努めた。

「成果」人権・同和教育部落懇談会のアンケート結果によると、9割近くが満足のいくものだったと回答。自分を振り返れた・知識を得ることが出来た等の意見が多かった。

「課題」今後も各種分野で多くの学習機会を提供することが必要。

・臨時職員(1人)賃金 1,775千円

・各種大会等への派遣状況 (単位:人)

大会・集会名	期日	場所	参加人数
第38回部落解放・人権西日本夏期講座	8/29~8/30	徳島県徳島市	1
第38回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会	8/7~8	米子市	延べ133
部落解放研究第47回全国集会	11/6~8	香川県高松市	1
第65回全国人権・同和教育研究大会	11/22~24	徳島県徳島市	2
第28回人権啓発研究集会	2/6~2/7	三重県津市	1

・人権・同和教育部落懇談会事前研修会 (単位:人)

研修会名	期日	場所	参加人数
人権・同和教育部落懇談会事前研修会 (人権・同和教育推進員研修会):赤碕	10/29・30	赤碕地域コミュニティーセンター、成美地区公民館	延べ192
人権・同和教育部落懇談会事前研修会 (人権・同和教育推進員研修会):東伯	1/30・31 2/4・6	まなびタウンとうはく、カウベルホール	延べ268

・人権・同和教育推進研究事業 (単位:円)

名称	委託料
琴浦町人権・同和教育推進協議会	620,000
各地区人権・同和教育推進研究協議会(5地区)	388,000
	1,008,000

- 部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする啓発 24千円
 琴浦町あらゆる差別をなくする施策推進プロジェクトチーム会議、琴浦町あらゆる差別をなくする審議会において、実施計画(後期分)に基づく施策の実施状況の把握・点検及び検討を行った。

「成果」 施策の実施状況の把握・点検を行うことで、計画的な事業推進ができた。
 「課題」 課題解決のため、さらなる施策の推進が必要。

- 人権教育推進員設置事業 4,931千円
 部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていくため、人権問題の学習機会の拡充、学習内容の充実などを図ることを目的に、人権教育推進員を2名配置。学習についての助言や教材作成等を行い、人権・同和教育の推進を図った。

「成果」 各種大会等へ参加し、知識を深め、学校や地域で人権・同和教育学習等の指導・助言することにより、町全体における人権・同和教育の取組の向上につながっている。
 「課題」 より充実した内容での学習機会を提供し、自主的な学習の支援と促進を図る必要がある。

- 人権・同和教育推進事業(法務省委託) 463千円
 人権・同和教育の推進を図るため、広く住民を対象に人権に関する学習機会を提供した。

「成果」 参加者アンケートによる満足度調査を行っている。差別をなくする町民のつどいの満足度が90%以上と高くなるなど、各事業で参加者の満足を得ている。
 「課題」 高い満足度を得ているが、参加者数は減少していることもあり、広報活動の充実を図る必要がある。また、参加者層の固定化が見られ、新規の参加者の増加が課題。

(単位:人)

大会・集会等名	期日	場所	参加人数
人権・同和教育講演会	8/1・12/3	まなびタウンとうはく他	延べ 259人
差別をなくする町民のつどい	10/20	カウベルホール	329人

款	12 諸支出金	項	1 諸費	最終予算額	決算額
		目	1 国県支出金返納金	25,112千円	24,978千円
担当課決算額				466千円	466千円
<p>○隣保館運営事費等補助金返納金 466千円 平成24年度鳥取県隣保館運営費等補助金の確定に伴う返還金</p> <p style="margin-left: 40px;"> 交付決定額 12,330千円 実績額 11,864千円 <hr style="width: 100%;"/> 返納額 466千円 </p>					
款	3 民生費	項	1 社会福祉費	最終予算額	決算額
		目	4 隣保館運営費 (繰越明許)	20,850千円	20,639千円
担当課決算額				20,850千円	20,639千円
<p>○隣保館運営事業 20,639千円 赤碕文化センター駐車場造成工事を行い、利用者の利便の向上を図るとともに、施設利用安全性を確保。 L=113m 駐車場42台増設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 15,547千円 ・公有財産購入費(土地) 5,092千円 					

款	1 資金貸付事業費	項	1 資金貸付事業費	最終予算額	決算額		
		目	1 資金貸付事業費	986千円	743千円		
担当課決算額				986千円	743千円		
○貸付事業費 743千円 住宅新築資金等貸付事業の徴収償還事務に要した経費							
款	2 公債費	項	1 公債費	最終予算額	決算額		
		目	1 元金	8,260千円	8,256千円		
担当課決算額				8,260千円	8,256千円		
○住宅新築資金等貸付金の起債償還金(元金)事業 住宅新築資金等貸付金の起債償還金(元金)				8,256千円			
		<table border="1"> <tr> <td>㈱かんぼ生命保険</td> <td>8,256千円</td> </tr> </table>		㈱かんぼ生命保険	8,256千円		
㈱かんぼ生命保険	8,256千円						
款	2 公債費	項	1 公債費	最終予算額	決算額		
		目	2 利子	1,842千円	1,839千円		
担当課決算額				1,842千円	1,839千円		
○住宅新築資金等貸付金の起債償還金(利子)事業 住宅新築資金等貸付金の起債償還金(利子)				1,839千円			
		<table border="1"> <tr> <td>㈱かんぼ生命保険</td> <td>1,839千円</td> </tr> </table>		㈱かんぼ生命保険	1,839千円		
㈱かんぼ生命保険	1,839千円						
款	4 諸支出金	項	1 繰出金	最終予算額	決算額		
		目	1 繰出金	2,221千円	2,221千円		
担当課決算額				2,221千円	2,221千円		
○一般会計繰出金 2,221千円 一般会計からの借入分を20年かけて、繰越額の1/2以上を返還							
「成果」 一般会計からの借入に対し、予定額より多く返還できた。							
「課題」 ①不景気による収入減等もあり、未償還額の分割による返還が長期化傾向にある。 ②一般会計からの借入は20年での返還計画であるため、状況を踏まえての長期的な展望が必要。							